

第 58 回 通常総会 開催

－ 新会長に出塚美紀氏 －

当協会第 58 回通常総会が去る 5 月 18 日、KKR ホテル東京において開催された。福島会長があいさつ（後掲）を行った後、議長に就任して審議が行われた結果、上程された各議案はすべて原案通り承認された。

第 1 号議案『令和 7 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告』では、(1) 東京港における輸入貨物の取扱数量は 1,936 千トン（検査・重量ベース）、前年度比 2.3% の減少であった。本船貨物では、果実の主力であるバナナが、前年度比 2.5% の減少、パイナップルが 7.3% の増加、キウイフルーツは 4.4% の減少だった。かんきつ類はトルコ産が 1 船 139 千 CT 輸入された。本船コムギは 28.7% の減少となった。一方、コンテナ貨物は、900 本減少し、77,163 本だった。こく類は、コメが 1,938 本増加、モルトが 412 本減少、オオムギ 149 本減少、ソバ 222 本減少し、全体で 1,109 本増加した。まめ類は、ダイズが 1,822 本減少し、全体で 1,863 本減少した。乾牧草は、チモシーヘイ 13 本減少、アルファルファヘイ 50 本減少で、全体で 535 本減少した。野菜類は、タマネギが 1,325 本増加、キャベツ 1,280 本減少、ハクサイ 54 本減少、ナガネギ 37 本減少、カボチャ 131 本増加で、全体で 348 本増加した。果実は、バナナが 306 本増加、グレープフルーツ 55 本増加、パイナップル 24 本増加、リンゴ 145 本増加、オレンジが 225 本減少で、全体で 268 本増加した。横浜港からの荷受消毒立会件数が 23 件減少し 331 件であった。輸出用木材こん包材消毒証明件数は 1,367 件で、前年から 196 件減少した。(2) 令和 6 年度第 2 回理事会の決議に基づき、賦課金・立会料の減額率を 10% にした。本年度の同収入は 16,753 万円（減額の金額 1,831 万円）と前年度比 1.1% 減となり、見込みより 6.9% ほど上回った。(3) 広報活動は、定期的に配信される「東京植検だより」や植物防疫所、全植検協の機関紙をはじめ、関連のポスターやパンフレットなどを配布したほか、様々な検疫情報、現場情報をホームページ等により、広く関係者に提供した。また、日頃各地から寄せられる問い合わせ、相談などに適切に対応するなど東京港における植物検疫業務等が円滑、的確、かつ安全に推進されるよう努めた。(4) 関係当局及び諸団体との連絡・協調を図り、特に全植検協については、福島会長が理事・副会長として、また事務局においても各種委員として、同協会の運営に協力した。また、農水省植物防疫課も参加する「植物検疫関係団体連絡会」において検疫現場の状況を

報告し、問題点を提起するとともに、検疫情報を直接入手した。さらに、近在協会とも定期的に連絡会を開き、意見・情報交換などに努めた。

第 2 号議案『令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）』については、(1) 新年度の事業計画として、円滑な受検業務や広報活動など従来からの基本事業を引き続き推進することと、賦課金等の 10% 減額請求を継続すること、見直される輸入植物検疫制度の随時の改訂に対し、的確に対応すること、各業務を基本に忠実に実行すること (2) 収支予算については賦課金等の減額請求を継続することで、2,020 万円の赤字とする新年度予算を提案し承認された。

第 3 号議案『任期満了に伴う役員改選について』では、まず理事 15 名、監事 2 名が選出された後、臨時理事会において、会長に出塚美紀氏、副会長に奥村隆氏が新たに選任され、副会長に原雄二氏、鈴木孝幸氏、専務理事には岡辰男氏が留任した。その後、出塚新会長からあいさつがあった（後掲）。

最後に、春日井横浜植物防疫所長から植物検疫を巡る最近の状況などを交えたあいさつ（後掲）があり、第 58 回通常総会は滞りなく終了した。（佐藤 勉）

福島会長あいさつ

本日は、会員の皆様方にはお忙しい中、東京植物検疫協会第 58 回通常総会にご出席頂きまして有り難うございます。

また、本日はご多忙の中、農林水産省横浜植物防疫所の春日井健司所長様、同じく横浜植物防疫所東京支所の村井寛支所長様にご来賓としてご臨席いただいております。どうもありがとうございます。後ほど春日井所長様にはご挨拶をお願いしております。どうぞよろしくお願いいたします。

これまで円滑に業務を遂行することができていることについては、ひとえに関係ご当局のご指導、会員各位のご協力の賜物と感謝申し上げます。役職員一同あらためまして心を引き締めて適切に業務を運営していく所存です。

本日は、先にご案内申し上げましたとおり、3 つの議案、すなわち、(1) 第 1 号議案：令和 7 年度業務報告、収支決算報告及び監査報告 (2) 第 2 号議案：令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案） (3) 第 3 号議案：任期満了に伴う役員改選を提案しております。

後ほど詳しく説明がありますが、簡潔に内容を紹介いたしますと、令和 7 年度の当協会の貨物の取り扱い状況は、全体として前年に比べて減少しました。当協会の取扱いの多くを占めるコンテナ貨物については、昨年より約 900 本少ない 7 万 7 千本ほどとなりました。この影響で、賦課金・立会料の収入については、前年度比 1.1% の減少となっております。支出については節約に努めたこともあり、昨年総会で承認された予算収支より 1 千万円ほどの黒字となりました。

令和 8 年度事業計画及び予算（案）におきましては、現在の事業を引き続き実施するとともに、賦課金・立会料の減額請求措置を継続します。昨年 10 月の理事会における決議に基づきその減額率を引き続き 10% とすることを提案しております。

以上、宜しくご審議のほど、お願い致します。

出塚新会長就任あいさつ



このたび会長に選任されました丸紅株式会社の出塚でございます。会長就任に当たり、ひと言ご挨拶を申し上げます。

東京港という日本有数の貨物量を誇る港において、植物検疫業務を担う当協会の役割は非常に重要であり、検疫貨物の輸入動向や関

連法令の改正等、時々的情勢の変化に対応した、円滑かつ的確な業務の実施が求められている、と承知しております。今後、植物検疫ご当局のご指導、副会長、理事の方々、事務局のご支援、そして会員の皆様のご協力を賜りながら、微力ではございますが、職責を全うする所存でございますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

東京植物検疫協会新役員（令和 8 年 5 月 18 日改選、順不同）

会 長	出塚 美紀	丸 紅 株 式 会 社	理 事	山 川 実	株式会社ダイソーコーポレーション
副会長	原 雄二	東京青果貿易株式会社	“	則 竹 正 敏	望 月 海 運 株 式 会 社
“	鈴木 孝幸	日本通運株式会社	“	穴 戸 浩	日 東 富 士 製 粉 株 式 会 社
“	奥 村 隆	三 井 物 産 株 式 会 社	“	伊 藤 伸 浩	新 興 海 陸 運 輸 株 式 会 社
専務理事	岡 辰男	東京植物検疫協会	“	深 澤 伸 也	株 式 会 社 三 協
理 事	山 崎 夏 郎	双 日 株 式 会 社	“	清 水 伸 太 郎	関 東 港 業 株 式 会 社
“	米 田 禎	伊 藤 忠 商 事 株 式 会 社	“	海 瀬 悠 史	株式会社カイセトレーディング
“	升 岡 裕 善	住 友 商 事 株 式 会 社	監 事	佐 久 間 浩	輸 入 食 糧 協 議 会
“	福 島 和 博	兼 松 株 式 会 社	“	宮 尾 徹	海 外 貨 物 検 査 株 式 会 社

横浜植物防疫所長あいさつ



ご出席の皆様には、日頃から植物検疫行政の円滑な推進に多大なるご理解とご協力を賜り、本席をお借りして厚く御礼申し上げます。

植物防疫所におきましては、本年も迅速かつ的確な植物検疫を行ってまいりる所存ですので、

引き続き宜しくお願いいたします。

この機会に植物防疫所の業務状況を紹介させていただきます。

（植物検疫統計）令和 7 年（2025 年）の全国における数量ベースの輸出入検査実績は、輸入貨物では、全体として前年に比べて若干の増加傾向でした。内訳としては、栽植用植物（149%）、野菜（119%）、肥飼料・その他雑品類（119%）が増加。一方、栽植用球根類（87%）ではやや減少となりました。

一方、輸出では、前年と比べて栽植用球根（116%）、こく類（117%）、嗜好香辛料・葉染料・その他食品（141%）、油料・肥飼料・その他雑品類（135%）、木材（110%）が

増加した一方、生果実（70%）、まめ類（72%）は減少、これら以外の栽培用植物、栽植用種子、切り花、野菜はほぼ横ばいでした。

また、東京港での輸入貨物については、栽培用植物（176%）、野菜（130%）、こく類（116%）で増加、栽植用球根（73%）、まめ類（86%）、木材（29%）で減少、その他はほぼ横ばいでした。

次に、最近の植物検疫に関する動向をいくつか紹介させていただきます。

（ePhyto 試行運用関係）ePhyto の現状について紹介します。昨年 10 月の輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の大規模機能改修により、ePhyto を交換する機能が追加されたことから、現在、米国、韓国、チリ及びアルゼンチンとの輸出入貨物を対象に、ePhyto の導入に係る試行運用を行っているところであり、関係者の皆様にはご協力をいただきありがとうございます。

今後、ePhyto の本格導入時期等が決定しましたら、関係者の皆様にご連絡しますので、引き続き ePhyto の試行運用について、ご協力をお願いします。

【輸入検疫】輸入植物検疫においては、病害虫リスクアナリシスの結果に基づき、平成 23 年以降、順次、輸入

検疫の対象となる検疫有害動植物と輸入検疫措置の見直しを行っているところです。

直近の第12次改正では、特に我が国への侵入を警戒しているウリミバエの発生地域にアラブ首長国連邦及びガーナ、火傷病の発生地域にイラク、サウジアラビア等を加えるなど、既存の検疫有害動植物16種について植物検疫措置を見直すこと、トマトの生果実等に寄生するトマトキバガを非検疫有害動植物に追加するなどの改正が予定されており、現在、関係規則の改正に必要な植物防疫検討会、パブリックコメント等の所要の手続を終えた段階にあります。

また、海外での病害虫の発生拡大の情報など新たに許容できない侵入リスクを生じたことが確認された場合、発生国からの寄生植物に対して緊急的な検疫措置を実施しています。直近では本年4月、ネパールからのコドリソウの寄主植物に対する輸入停止を実施しました。今後も緊急的な検疫措置を実施する事例が生じると考えられますが、その際には植物防疫所ホームページ等において迅速かつ適切な周知に努めてまいりますので、ご協力をお願いします。

【輸出検疫】輸出検疫関係では、輸出者からのニーズに迅速に対応するため、令和5年度からリモート検査を導入しています。これまで小麦粉、赤玉土、凍結品、製材などを対象に実施しており、令和7年は約14,000件（前年比約165%）と大幅に増加しています。今後もより多くの方にご利用いただけるよう、周知活動に努めてまいります。

また、令和6年12月にフィリピン向けいちご生果実の輸出が解禁され、2年目となった昨シーズンは、横浜管内では千葉県、埼玉県、群馬県及び宮城県の合計4県24園地が登録され、週1回程度の頻度で継続して輸出されました。今シーズンについても同様の頻度での輸出が見込まれています。

更に、令和5年度から導入された輸出検査の一部を植物防疫所に代わって実施することができる登録検査機関は、昨年12月24日に一般社団法人大阪植物検疫協会が追加登録され、本年3月末で14機関が登録されています。

植物防疫所におきましては登録検査機関認定のための審査、適正に業務が行われていることの確認を適切に実施してまいります。

【国内検疫】令和7年度は、海外からの飛来と推定されるミカンコミバエ種群の誘殺事例が沖縄県、鹿児島県、熊本県、長崎県、佐賀県及び福岡県で、セグロウリミバエの誘殺事例が鹿児島県で確認されました。更に侵入調査において、成田空港周辺、横浜港及び神戸港でミカンコミバエ種群の誘殺事例が確認されました。これら各事例では、定着・まん延を阻止するため、関係者の協力の下、トラップの増設、防除資材（テックス板）の設置や寄主植物の廃棄等、初動対応を講じています。

セグロウリミバエについては、沖縄県本島を防除区域として、昨年4月から、植物防疫法に基づく緊急防除を実施しています。昨年6月から不妊虫の野外放飼を開始し、順次放飼エリアを拡大しているところです。現在、防除区域は、本島に加え沖縄県北部3離島村（伊江村、伊是名村及び伊平屋村）、防除期間は来年3月31日までとされています。

以上のとおり、近年、気候変動や物流の多様化などに伴い、我が国未発生の病害虫の侵入・まん延するリスクが高まっており、万一、初動対応が遅れた場合、我が国の農業生産に大きな影響を受けるだけでなく、新たな病害虫の発生を理由に、諸外国から我が国の輸入検疫措置の見直しを求められるおそれや、我が国の農作物の輸出先国から新たな検疫措置を求められるなど輸出を阻害するおそれがあります。このため、引き続き病害虫の早期発見・早期防除に向けこれまで以上に努めてまいります。

以上、簡単に業務概況と最近の動向をご説明させていただきましたが、結びに東京植物検疫協会及び会員各社、皆様方の益々のご発展をお祈りするとともに、植物検疫への一層のご理解とご協力をお願いして挨拶といたします。

会 員 ・ 役 員 の 異 動 （令和8年4月1日～令和8年6月30日）

☆入会会員

4月1日 双 日 九 州 (株) [商社] 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2

☎ 092 (751) 3323

☆社名変更

4月1日 (株) ハスファームジャパン ← (株) グリーンウイングスジャパン

☆退会会員

4月10日 エー ジー アイ ジャパン (株)

4月30日 三 慧 食 品 (株)

☆交代役員

4月1日 理 事 深澤 伸也 株式会社 三 協 （前任者：北原 広記）

4月1日 監 事 佐久間 浩 輸入食糧協議会 （前任者：富樫 治幸）

東京港輸入植物品目別統計表

(令和8年1～6月累計)

品 目	単 位	コ ン テ ナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	28	1,651,759	9,706	0	0	1,651,759	9,706
栽植用球根類	個	30	6,439,897	150	0	0	6,439,897	150
アマリリス	〃	0	0	0	0	0	0	0
チューリップ	〃	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	〃	27	5,680,300	0	0	0	5,680,300	0
栽植用種子	kg	234	2,676,677	0	0	0	2,676,677	0
草花・樹木	〃	5	25,934	0	0	0	25,934	0
野菜	〃	93	426,542	0	0	0	426,542	0
普通・特用作物	〃	57	881,333	0	0	0	881,333	0
牧草・芝草	〃	69	1,230,178	0	0	0	1,230,178	0
切花、切葉、切枝	個	1,156	155,604,490	302,290	0	0	155,604,490	302,290
アンズリューム	〃	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	〃	49	1,953,355	0	0	0	1,953,355	0
キク	〃	690	70,335,186	12,780	0	0	70,335,186	12,780
シダ(レザーフアン)	〃	48	9,217,900	250,700	0	0	9,217,900	250,700
果 実	kg	4,898	84,112,789	4,577,990	148,248,560	97,895,254	232,361,349	102,473,244
オレンジ	〃	619	11,205,423	530,303	0	0	11,205,423	530,303
グレープフルーツ	〃	128	2,518,645	19,152	0	0	2,518,645	19,152
タンジェロ(ミネオラ)	〃	58	1,076,230	0	0	0	1,076,230	0
レモン	〃	329	5,439,973	0	0	0	5,439,973	0
パイナップル	〃	721	11,143,672	2,030,185	11,802,658	9,664,442	22,946,330	11,694,627
バナナ	〃	1,286	22,489,862	1,931,777	117,844,210	87,841,156	140,334,072	89,772,933
マンゴウ	〃	41	150,152	0	0	0	150,152	0
キーウイフルーツ	〃	420	7,467,142	0	129,665,849	97,505,598	137,132,991	97,505,598
ブドウ	〃	21	325,512	0	0	0	325,512	0
野 菜	kg	8,391	174,945,242	559,638	12,300	0	174,957,542	559,638
カボチャ	〃	499	11,747,919	473,400	0	0	11,747,919	473,400
サヤエンドウ(キヌサヤ)	〃	3	42,876	0	0	0	42,876	0
パプリカ	〃	23	206,172	0	0	0	206,172	0
メロン(ハミウリ含む)	〃	27	494,240	0	0	0	494,240	0
キャベツ	〃	61	2,048,435	0	0	0	2,048,435	0
セロリ	〃	3	47,430	0	0	0	47,430	0
ナガネギ	〃	1,044	15,407,605	0	0	0	15,407,605	0
ニンニクの芽	〃	17	745,896	0	0	0	745,896	0
ハクサイ	〃	0	38,820	0	0	0	38,820	0
ブロッコリー	〃	33	392,700	0	0	0	392,700	0
レタス	〃	160	1,852,132	23,600	0	0	1,852,132	23,600
タマネギ	〃	3,595	87,395,175	50,400	0	0	87,395,175	50,400
ニンニク	〃	351	6,471,783	0	0	0	6,471,783	0
アスパラガス	〃	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	〃	145	3,878,500	0	0	0	3,878,500	0
サトイモ	〃	23	413,380	0	0	0	413,380	0
ショウガ	〃	268	6,104,691	0	0	0	6,104,691	0
ニンジン	〃	776	19,676,490	0	0	0	19,676,490	0
こく類	kg	4,992	105,150,807	279	73,371,041	0	178,521,848	279
オオムギ	〃	1	20,702	0	0	0	20,702	0
エンバク	〃	225	5,199,903	0	0	0	5,199,903	0
コムギ	〃	59	1,085,982	0	73,371,041	0	74,457,023	0
コメ	〃	1,333	25,973,357	279	0	0	25,973,357	279
ソバ	〃	64	1,319,182	0	0	0	1,319,182	0
トウモロコシ	〃	217	4,005,172	0	0	0	4,005,172	0
モルト	〃	3,032	66,436,823	0	0	0	66,436,823	0
まめ類	kg	4,185	84,129,867	100,268	0	0	84,129,867	100,268
エンドウ	〃	24	487,214	0	0	0	487,214	0
ダイズ	〃	3,848	77,258,848	0	0	0	77,258,848	0
ラッカセイ	〃	195	4,252,293	100,220	0	0	4,252,293	100,220
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,252	36,607,980	125	1,000	1,000	36,608,980	1,125
カカオ	〃	7	24,968	0	1,000	1,000	25,968	1,000
コーヒー	〃	32	271,873	0	0	0	271,873	0
タバコ	〃	317	5,763,670	0	0	0	5,763,670	0
アーモンド	〃	660	12,102,091	0	0	0	12,102,091	0
クリ	〃	4	46,000	0	0	0	46,000	0
クルミ	〃	399	6,842,892	0	0	0	6,842,892	0
ポップコーン	〃	221	4,722,874	0	0	0	4,722,874	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	13,257	303,866,119	128,023	0	0	303,866,119	128,023
乾燥牧草(ヘイ)	〃	9,493	223,533,023	0	0	0	223,533,023	0
アニマルフィード	〃	13	158,028	0	0	0	158,028	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	〃	601	14,986,113	0	0	0	14,986,113	0
コーンコブミール	〃	2	47,800	0	0	0	47,800	0
飼料用大豆カス、ペレット	〃	261	6,273,493	0	0	0	6,273,493	0
ビートパルプペレット	〃	72	1,615,904	128,000	0	0	1,615,904	128,000
イネワラ	〃	143	2,537,257	0	0	0	2,537,257	0
ココピート	〃	444	8,453,574	0	0	0	8,453,574	0
ココヤシ園芸資材	〃	8	141,698	0	0	0	141,698	0
ビートモス	〃	736	16,747,425	0	0	0	16,747,425	0
ミズゴケ	〃	20	34,251	0	0	0	34,251	0
タケ	〃	28	403,549	0	0	0	403,549	0
木材	m3	1	9	0	0	0	9	0
＊ ＊ 総 合 計 ＊ ＊	kg	38,209	791,489,481	5,366,323	221,632,901	97,896,254	1,013,122,382	103,262,577
	個	1,214	163,696,146	312,146	0	0	163,696,146	312,146
	m3	1	9	0	0	0	9	0

注1) コンテナ本数の総合計は、kg、個、mの合計(39,424本)。

注2) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含めない。